

「チェックリスト」及び「手引き」の使い方

「手引き」では、先生方のクラスの実態と先生方の指導の現状を基に、先生方にお勧めの手立てが分かるようになっていきます。「手引き」を使う前に、「チェックリスト」(図 1) で次の①②を行い、指示された「手引き」のページ(次頁図 2)にお進みください。※チェックリストでのチェックは、学期に1回程度で構いません。

- ①「チェックリスト」の質問に答えていく。
- ②「チェックリスト」で指示された手引きのページを開く。

【チェックリスト】

手引きを使う前に、以下の質問に答えてください。

toppage

Q 1
社会科の単元づくりを、「問題解決的な学習」を意識して行っていますか？

※「問題解決的な学習」とは、「①社会的事象と出会う ②学習問題を見いだす
③予想や学習計画を考える ④予想や学習計画に基づいて追究する
⑤調べて分かったことや考えたことをまとめる ⑥新たな問題を見いだす」
の学習展開で構成された単元計画とします。

A: 行っている
→ Q 2 へ

A: 行っていない
Click

Q 2
次の項目に幾つ当てはまりますか。

児童の「あれ?」「どうしてかな?」「こうなんじゃないかな?」といった疑問や予想を引き出している。
 学習問題を見童の言葉を引き出しながらつづっている。

A: 2つ当てはまる。
→ Q 3 へ

A: 0又は1つ当てはまる。
Click

Q 3
次の項目に幾つ当てはまりますか。

学習問題を解決するために、何を調べるとよいのか
 学習問題を解決するために、どんな方法で調べると
いる。
 学習問題の答えを予想させてい

A: 3つ当てはまる。
→ Q 4 へ

どのように授業改善を始めたらいいのだろう?
チェックリストで、自分の授業改善のスタートラインを決めよう。
注意: 画像はイメージです。リンクしていません。

Q 4
次の項目に幾つ当てはまりますか。

調べることを明らかにして、調べるようにしている。
 調べたことを、ペアやグループで共有するようにしている。
 調べたことをもとに、考えることのようにしている。
 考えたことを、ペアやグループで交流するようにしている。

図 1 チェックリスト

チェックリスト及び手引きの使い方-1



手順 1

- ① クラスの実態に する。
- ② が付かない場合、⇒が示す記号・番号に進む。

自分のクラスは、資料を見せても、なかなか気付きをもつことができていないな・・・自分はどんな指導をしているかなあ。A①②をチェックしてみよう。



学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識			(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> C①②③④⑤			
技能 (収集する読み取るまとめる)			(1) 学習問題や学習課題(本時のめあて)を解決するために必要な資料を集めることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> C①②③			
思考・判断・表現	(1) 資料を基に気付きをもつことができる。 <input type="checkbox"/> A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。 <input type="checkbox"/> A①②③ (3) 疑問に対して、予想を考へることができる。 <input type="checkbox"/> A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード(問い)をつくることできる。 <input type="checkbox"/> A④⑤⑥⑦ (5) キーワード(問い)を関連付けて、大きな問いをつくることできる。 <input type="checkbox"/> A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想を考へることができる。 <input type="checkbox"/> B① (2) 自分が調べたいことを考へることができる。 <input type="checkbox"/> B①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考へることができる。 <input type="checkbox"/> B①②③	(1) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考へることができる。 <input type="checkbox"/> C①②③④⑤ (2) 調べた事実を基に、考へられることを導き出すことができる。 <input type="checkbox"/> D①②③ (3) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input type="checkbox"/> D②③④⑤ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考へることができる。 <input type="checkbox"/> D④⑤⑥⑦ (5) 目的や自分の意見に基づいてまとめることができる。 <input type="checkbox"/> C⑥⑦⑧⑨⑩	(1) 調べた事実を基に、考へられることを導き出すことができる。 <input type="checkbox"/> C①②③④ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input type="checkbox"/> D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考へることができる。 <input type="checkbox"/> D④⑤⑥⑦ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考へた上で、一番重視したい立場を選択することができる。 <input type="checkbox"/> D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	(1) これまでに学習してきたことを基に、自分の考へをもつことができる。 <input type="checkbox"/> E①②③④ (2) 友達のを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。 <input type="checkbox"/> E①②③④	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考へることができる。 <input type="checkbox"/> F④ (2) 新たに調べたいことを考へることができる。 <input type="checkbox"/> F①②③
主体的に学習に取り組む態度			(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。 <input checked="" type="checkbox"/> B①②③⇒C①②③ (2) 今調べたり考へたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。 <input type="checkbox"/> B①②③⇒C①②③④ (3) 社会的事象について、実感や切実感をもって調べたり考へたり、話し合ったりすることができる。 <input type="checkbox"/> A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考へたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考へることができる。 <input type="checkbox"/> A①⇒F①②③④			



手順 2

- ③ ⇒が示す手立てを授業で取り入れているかどうか、若い番号から順にチェックする。
- ④ チェックが付かないものを明日の授業や次の単元に取り入れる。

A①は、やっているぞ。でも、A②の資料提示の工夫はやっていないな。気付きをもたせるため、次の単元に取り入れてみよう。



学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
手立	A①身近なことを題材に挙げる。 <input checked="" type="checkbox"/> A②資料提示の工夫(資料の一部を隠すなど)を行う。 <input type="checkbox"/> A③題材に対して気付きや疑問をもたせる。 <input type="checkbox"/> A④気付きや疑問を教師が意図的に仲間(キーワード)分けて板書する。 <input type="checkbox"/> A⑤気付きや疑問に対して、問い返ししながら、児童に予想を出させる。 <input type="checkbox"/> A⑥自分の考へをもちやすい場面(予想など)で、自分と相手の意見が同じか違いか考へさせながら対話させる。 <input type="checkbox"/> A⑦気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考へさせる。 <input type="checkbox"/> A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。 <input type="checkbox"/> A⑨個別にもった学習問題を全体で交流し、学習問題を設定する。 <input type="checkbox"/>	B①学習問題の解決のために何を調べるとよいか考へさせる。 <input type="checkbox"/> B②調べるとよいか考へたことをグループにし、何から調べたらよいか考へさせる。 <input type="checkbox"/> B③学習問題の解決のために何を調べるとよいか調べる方法を考へさせる。 <input type="checkbox"/>	C①学習問題を確認する。 <input type="checkbox"/> C②調べた事実を図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。 <input type="checkbox"/> C③学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。 <input type="checkbox"/> C④調べた内容(視点)を確認する。 <input type="checkbox"/> C⑤調べた内容について、予想をさせる。 <input type="checkbox"/> C⑥資料(写真、教科書等の文章等)をつづつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考へさせる。 <input type="checkbox"/> C⑦教師が指示した資料で調べさせる。 <input type="checkbox"/> C⑧立場ごとに、資料を分けて提示する。 <input type="checkbox"/> C⑨様々な資料を見せ、読み取った視点を増やす。 <input type="checkbox"/> C⑩学習問題や学習課題(本時	D①事実を調べた後に、意味を問う疑問を積極的に行う。 <input type="checkbox"/> D②調べた事実と考へを明確に分けさせる。 <input type="checkbox"/> D③根拠となる資料を確認する。 <input type="checkbox"/> D④話し合いの目的・ゴールを示す。 <input type="checkbox"/> D⑤考へをペアやグループで伝え合わせる。 <input type="checkbox"/> D⑥視点ごとに、考へをもたせる。 <input type="checkbox"/> D⑦視点同士を比較させ、考へをもたせる。 <input type="checkbox"/> D⑧比喩的例を示す。 <input type="checkbox"/> D⑨キーワードを挙げる。 <input type="checkbox"/> D⑩比喩的例に関する判定基準を示す。 <input type="checkbox"/> D⑪提示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。 <input type="checkbox"/>	E①単元全体のまとめ方を明示する。 <input type="checkbox"/> E②キーワードを挙げる。 <input type="checkbox"/> E③単元全体のまとめ方に関する判定基準を示す。 <input type="checkbox"/> E④ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。 <input type="checkbox"/>	F①新たな学習問題を提示する。 <input type="checkbox"/> F②社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。 <input type="checkbox"/> F③ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を話してもらう。 <input type="checkbox"/> F④学んだことと自分たちの生活(自分ができること)とをつなげて考へさせる。 <input type="checkbox"/>

図 2 指示された「手引き」のページ ※手引きでのチェックは、1 単元ごとに行うことをお勧めします。

「手引き」の使用例 (C校第6学年)

資料 1 と資料 2 は、C校第6 学年において授業の質的改善に取り組まれたC 先生の手引きです。

過程	課題把握		課題追究		課題解決		新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り	
知識			(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて(つなげて)、記述することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C⑩⑪ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して(まとめて)、記述することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C⑫、D①				
技能 (収集する まとめる)	(1) 学習問題や本時のめあてを解決するために必要な資料を集めることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (2) その資料がどのような資料か分かっている。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C⑩⑪⑫ (3) 事実を正確に読み取っている。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C⑬⑭⑮⑯ (4) 学習問題や本時のめあてを解決するために有用な情報を選んで読み取っている。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C⑳㉑㉒㉓	(1) 学習問題に対して、予想を 考えることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒A①②③④ (2) 疑問に対して、予想を考 えることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒A⑤⑥⑦ (3) 気付きや疑問を調べる観点ご とにグループ分けをするこ とができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒A⑧⑨ (4) 気付きや疑問から、キーワ ード(問い)をつくること ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒A⑩⑪⑫ (5) キーワード(問い)を関連付 けて、大きな問いをつくるこ とができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒A⑬⑭⑮	(1) 学習問題や本時のめあて(課 題)の解決のために、調べた事 実を基に、自分の考えを持つ ことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓ (2) 本時で分かったことから、新 たに調べたいことを考えるこ とができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C⑳㉑㉒㉓ (3) 本時で分かったことを基に、 学習問題の解決のために次 に何を調べるよいか考える ことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C⑳㉑㉒	(1) 調べた事実を基に、考えられ ることを導き出すことが できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒D①②③④ (2) 解決に必要な情報を判断し、 それらを基に自分の考えを 表現することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C⑱⑲⑳㉑㉒ (1) 自分の考えを明確にして、意 見を述べたり、記述したりす ることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒D④⑤⑥⑦⑧ (2) 資料を使って意見を述べ たり、記述したりするこ とができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒D⑨⑩⑪ (1) 様々な立場や視点ごとに、メ リット・デメリットを考 えることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C⑫、D⑬⑭⑮⑯ (2) 様々な立場や視点ごとに、メ リット・デメリットを考 え、一番重視したい立場を 選択することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C⑫、D⑬⑭⑮⑯ (3) 様々な立場ごとのメリット・ デメリットを総合的に考 えることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C⑫、D⑬⑭⑮⑯ (4) 実現可能性を踏まえた上で、 課題の解決策を考えるこ とができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒D⑰⑱⑲⑳㉑㉒	(1) これまでに学習したこ とを基に、自分の考えを 持つことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒E①②③④⑤ (2) 友達のことを比較・関連 付け、意見を述べたり、記 述したりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒D④⑤⑥⑦⑧ (3) 話し合いで出した意見を 総合して、意見を述べたり、 記述したりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒E②③④⑤⑥	(1) 学習した内容から似た事 象や当てはまりそうな事象 がないか考えること ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒E④⑤ (2) 新たな課題を考えるこ とができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒F①② (3) 学習した内容を、自分 の生活と関連付けて、考 えることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒F③④⑤⑥⑦	
主体的に学 びに取り組 む態度			(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるよいか見通しを持っている。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒B①②③、C①②③④ (2) 今調べたいことがあることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているか理解している。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒C①②③④⑤⑥ (1) 社会的現象について、実感や切実感を持って調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒A①②③④⑤⑥⑦、F①②③④⑤⑥ (2) 社会的現象について自分の生活と照らし合わせて考えることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒A⑧⑨、F⑦⑧⑨⑩⑪ (3) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ⇒F⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓				

資料 1 C 先生が実際に使用した手引き (資質・能力)

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決		新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り	
主な学習 過程の例	●学習問題を設定する。 ●社会的現象を知る。 ●気付きや疑問を出し、 ●課題把握を促す。 ●学習問題を設定する。	●課題解決の見通しを持つ。 ●予想や仮説を立てる。 ●調査方法、追究方法を明確に する。 ●学習計画を立てる。	●予想や仮説の検証に向けて調 べる。 ●学校外での観察や調査などを通 じて調べる。 ●様々な種類の資料を活用して調 べる。 ●他の児童生徒と情報を交換する。	●社会的現象等の意味や意味、特 色や相互の関連を考察する。 ●多面的・多角的に考察する。 ●話し合い(討論等) ●社会に見られる課題を把握して解 決に向けて構想する。 ●複数の立場や意見を踏まえて解決 に向けて選択・判断する。	●者取したことや構想したこと をまとめる。 ●学習課題を振り返り、結 論をまとめる。 ●学習成果を学校外の他者に伝 える。 ●新たな問い(課題)を見いだ したり追究したりする。		
主体的に 高い学びの 視点から 考えた ポイント	○児童に気付きや疑問を持たせて から、学習問題を設定する。	○設定した学習問題を基に、学習 計画を考案させる。	○活動の中で、学習問題と本時 のめあて(学習課題)とのつな がりを意識させる。	○身に付けた知識の活用を促す学 習課題(問題)を設定する。 ○調べさせた後に、調べた内容 を基に、考えさせる。	○単元全体を振り返り、学習 課題について自分の考えを まとめさせる。	○学習課題について考えさせ た後、振り返るべきことを 考えさせる。 ○振り返り(話し合い)で生活 に生かせることはいかに考え させる。	
手立て	A①身近なことを題材に挙げる。 A②資料提示の工夫(資料の一部 を隠すなど)を行う。 A③題材に対して気付きや疑問を 持たせる。 A④気付きや疑問を教師が主体的 に仲介(キーワード)分けて 板書する。 A⑤気付きや疑問に対して、問い 返ししながら、児童に予想を 出させる。 A⑥自分の考えを持ちやすい場 面(予想など)で、自分と相手の 意見が同じか違うか考えさせ させる。 A⑦気付きや疑問を基に、調べ たいことを考えさせる。 A⑧調べたいことを学習問題 として書かせる。 A⑨個別に持った学習問題を全 体で交流し、学校の学習問題 を設定する。 この内容で 十分?	B①学習問題の解決のために 何を調べるよいかを考え させる。 B②調べるといふことをグル ープで話し合わせる。 B③学習問題の解決のために 調べたいことをグループ で話し合わせる。 B④調べたいことに関する情報 がまとめられそうか予想を させる。 C①学習問題を明確にする。 ・知りたいことを目や表に表し、 単元全体を見通すことが できるようにする。 ・学習問題と学習計画を教室 内に掲示し、常に振り返ら せる。 C②学習問題の解決のために調 べる内容を整理する。 C③調べた内容について、予想 をさせる。 C④資料(写真、教科書等の文 字等)を一つずつ確認し、ど のようなことが分かる資料な か考えさせる。 C⑤限定した資料で調べさせる。 C⑥立場ごとに必要な資料を分 けて提示する。 C⑦様々な資料を見せ、読み取 りの視点を増やす。 C⑧問題の解決に必要な情報で あるか考えさせる。 C⑨調べた内容をペアやグル ープで伝え合わせ、確認さ せる。 C⑩調べた内容について、問い 返し、事実相互を関連付け て考えさせる。 C⑪学習問題について、学習課 題(本時のめあて)とのつな がりを意識して記述させる。	D①事実を調べた後に、意味 を問う発問を段階的に 行う。 D②調べた事実と考えを明確に 分けるようにさせる。 D③整理した資料を確認する。 D④話し合いの目的・ゴールを 示す。 D⑤話し合いの視点を 示す。 D⑥自分の考え(予想など)を 持ちやすい場面、ペアやグル ープでの話し合いの時間を 設定する。 D⑦話し合った内容のまとめ 方を明示する。 D⑧キーワードを挙げる。 D⑨まとめ方に関する判定基 準を示す。 D⑩ノートやワークシート、掲 示物などを活用し、これ までの学習を振り返らせる。 D⑪よく書いている児童の考 えを紹介する。	E①単元全体のまとめ方を 明示する。 E②キーワードを挙げる。 E③まとめ方に関する判定基 準を示す。 E④ノートやワークシート、掲 示物などを活用し、これ までの学習を振り返らせる。 E⑤話し合った内容のまとめ 方を明示する。 E⑥キーワードを挙げる。 E⑦まとめ方に関する判定基 準を示す。 E⑧掲示物を活用し、これ までの学習を振り返らせる。 E⑨よく書いている児童の考 えを紹介する。	F①新たな学習問題を提示す る。 F②子どもの考えを紹介する。 F③社会的問題をみんなで資料 を提示し、学習問題を設定 する。 F④ゲストティーチャーに新た な学習問題につながる情報 を提示する。 F⑤これからの自分たちの姿 を意識しながら対話させる。 F⑥自分たちにかかわるこ とを判断し、全体で 考えさせる。 F⑦手立てごと自分たちの生 活(自分たちでできること)と つなげて考えさせる。		

資料 2 C 先生が実際に使用した手引き (手立て)

※資料 1 と資料 2 は今年度の研究当初のもので、2 (3) 授業の質的改善のプロセスの項では、修正を図ったものを基に示しています。